

令和3年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 愛知県立大学 実施報告書



実施主体 愛知県立大学村田ゼミ

実施内容 より多くの人に届け！ 愛県大から長久手市へ

### ①事前に取り組んだ内容

- ①ゼミの時間内に子ども家庭福祉に関する新聞記事を読み、虐待や子ども家庭福祉の現状について理解を深めた。
- ②オレンジリボン運動の起源や変遷について調査し、ゼミ生全員がオレンジリボン運動への理解を深めた。
- ③大学内図書館での啓発コーナー設置に向けて、子ども虐待に関する書籍をメンバーで精読し、ポップ作成に役立てた。
- ④在校生向け学習会の開催に向けて、「地域の気付き」と「通告の大切さ」についての学びにつながるような事例を選定するために、実際の虐待事件について調査した。
- ⑤子ども虐待の認識に関するアンケート調査を実施するにあたり、これまでに報告されている虐待事例を調べ、学生や地域住民を対象とした調査における事例の適切性を検討した。併せて、前年度調査の内容と結果を再検討し、より適切な質問内容を考えた。調査の対象を広げるにあたって、調査の周知、協力依頼などアプローチ方法を検討した。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ①オリジナルポスターの作成と学内外への掲示
- ②オリジナルグッズ（しおり）の作成・配布
- ③SNSによる活動内容の紹介
- ④大学内図書館での子ども虐待防止啓発コーナーの設置
- ⑤大学職員・学科教員へのオレンジリボン携帯依頼
- ⑥大学職員・学科教員へのフウセンカズラの種の配布
- ⑦WEBによる「子ども虐待認識度調査」の実施
- ⑧在校生向け学習会の実施
- ⑨高校生向け学習会の実施
- ⑩「未来の子どもたちへのメッセージ」の募集・展示
- ⑪オレンジリボン運動の紹介の学内展示コーナーの設置

### ③オレンジリボン運動を終えて…

〈SNSによる活動内容の紹介〉  
今年度から新たにSNS開設をした。コロナ禍においてもオレンジリボン運動の啓発を通して、多くの人とのつながりを作ることが出来た。



### 〈WEBによる「子ども虐待認識度調査」の実施〉

県大の学生及び学外の様々な方々にアンケート調査にご協力いただき、その結果から、子ども虐待に関して通告の義務があることは知っていても、具体的な方法については、知らない人が多いということが判明した。今後も活動を継続し、多くの人に「189」を知ってもらおう必要があると分かった。

### 〈在校生向け学習会の実施〉

事例検討では野田市小4 女児事件の事例について検討し、地域の周りの目が子ども虐待の予防につながるのではないかと考えた。学習会では、実際にこの事例を通して子ども虐待とその防止について考えてもらう中で、子ども虐待が私たちにとって身近な問題であり、子どもたちを守るために何ができるかについて考えてもらうきっかけになった。

### 〈高校生向け学習会の実施〉

高校生に向けては、虐待とは何かということに特に焦点を当てて学習会を行った。参加した高校生からは、「地域ぐるみで取り組む大切さを学んだ」「子どもの視点にたって考えることが出来た」などの感想をいただいた。虐待について知ってもらうだけでなく、虐待という問題について興味をもってもらい、次の学びへとつなげることができた。また、虐待防止のためには、周りの人の行動も大切であることを伝えることができた。

### 〈「未来の子どもたちへのメッセージ」の募集・展示〉

社会福祉学科1年生の方に協力していただき、未来の子どもたちに向けたメッセージを募集し展示を行った。この活動は、大学生である私たちが親準備世代であるという自覚を持つきっかけとなった。また、自分自身の思いを言葉にすることで、「未来の子どもたちを守る大人になる」という意識を高

知らせよう  
子どもの未来を  
守るため

ぼくたちを、助けて

11月は児童虐待防止推進月間です

児童相談所虐待対応ダイヤル イチ ハヤク  
189

子ども虐待防止  
オレンジリボン運動

少しでも「おかしいな...」と思ったら連絡を！  
・秘密は守られます。匿名でもかまいません。  
・無料でかけられます。

各SNS  
フォロー  
お願いします！

群馬県調査  
にご協力  
ください！

愛知県立大学社会福祉学科  
村田ゼミ3年

守ろう  
虐待から  
子どもたちを

11月は児童虐待防止推進月間です

Twitter, Instagramにて  
情報更新中です！

総機運的  
にご協力をお願いします！

愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 村田ゼミ3年

めることが出来た。

〈まとめ〉

今回の活動を通して、つながりの大切さを実感することができた。SNSを通じた広報活動では、同様の活動をしている団体や個人の方とつながり、情報交換を行うことができた。今年はさらに地域の方とかかわり、活動の幅を広げることができた。学内では、学生はもちろん、教員や職員の方にご協力いただき、活動を行うことができた。



【愛知県立大学】 <http://aichi-pu.ac.jp>